

いにしえの
くらし知らせる
三内丸山



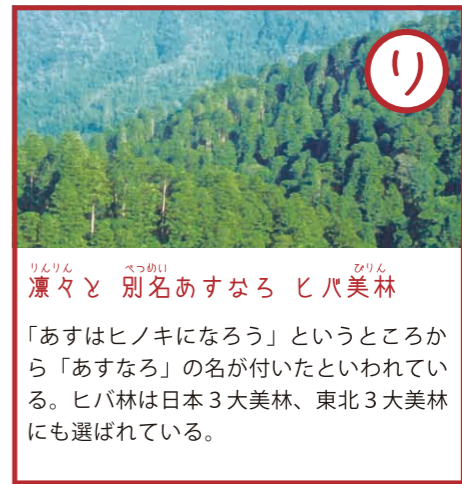
いにしえの くらし知らせる 三内丸山
三内丸山遺跡は青森市の南西に位置する縄文時代の遺跡。5000年前の生活の様子がわかるといわれている。

ほんのりと
香るリンゴは
県の花



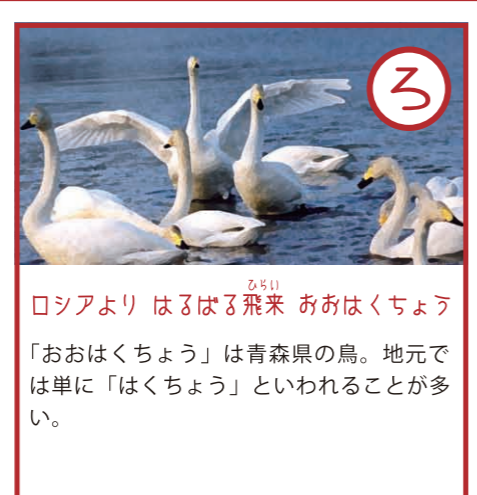
ほんのりと 香るリンゴは 県の花
りんごの生産量が日本一なのは有名であるが、その花も青森県の花となっている。5月に白い花を咲かせる。

凛々と
別名あすなる
ヒバ美林



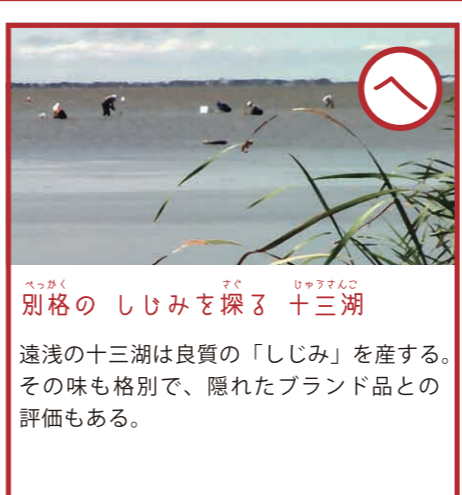
凛々と 別名あすなる ヒバ美林
「あすはヒノキになろう」というところから「あすなる」の名が付いたといわれている。ヒバ林は日本3大美林、東北3大美林にも選ばれている。

ロシアより
はるばる飛来
おおはくちょう



ロシアより はるばる飛来 おおはくちょう
「おおはくちょう」は青森県の鳥。地元では単に「はくちょう」といわれることが多い。

別格の
しじみを探る
十三湖



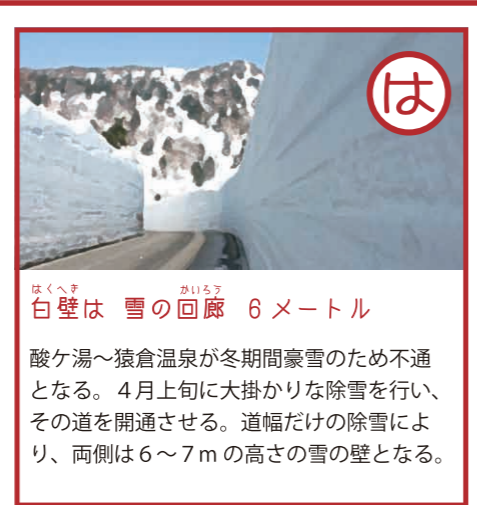
別格の しじみを探る 十三湖
遠浅の十三湖は良質の「しじみ」を産する。その味も別格で、隠れたブランド品との評価もある。

縫うように
清らかな水
奥入瀬溪流



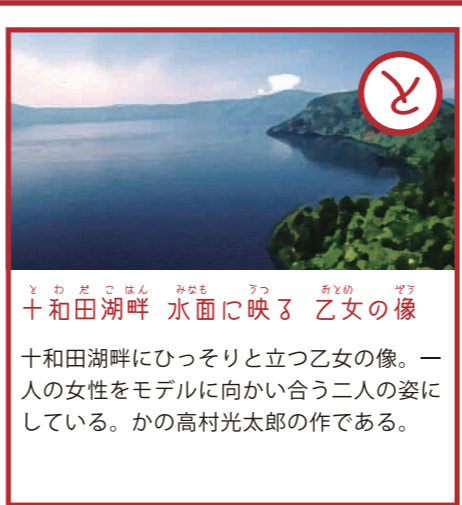
縫うように 清らかな水 奥入瀬溪流
十和田湖から出発している奥入瀬溪流は約12km。多くの美しい滝などもあり、8kmの散策道とともに樹林の中を進んでゆく。

白壁は
雪の回廊
6メートル



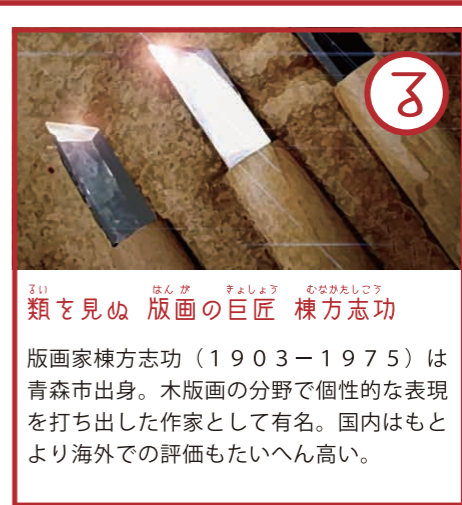
白壁は 雪の回廊 6メートル
酸ヶ湯～猿倉温泉が冬期間豪雪のため不通となる。4月上旬に大掛かりな除雪を行い、その道を開通させる。道幅だけの除雪により、両側は6～7mの高さの雪の壁となる。

十和田湖畔
水面に映る
乙女の像



十和田湖畔 水面に映る 乙女の像
十和田湖畔にひっそりと立つ乙女の像。一人の女性をモデルに向かい合う二人の姿にしている。かの高村光太郎の作である。

類を見ぬ
版画の巨匠
棟方志功



類を見ぬ 版画の巨匠 棟方志功
版画家棟方志功（1903-1975）は青森市出身。木版画の分野で個性的な表現を打ち出した作家として有名。国内はもとより海外での評価もたいへん高い。

西の彼方
大陸望む
権現崎



西の彼方 大陸望む 権現崎
北津軽郡中泊町小泊にある別名小泊岬。秦の始皇帝の重臣徐福が不老不死の薬を求めて至ったとも言われている。西の彼方には中国大陸。

地に育つ
にんにく長いも
日本一



地に育つ にんにく長いも 日本一
「にんにく」、「長いも」とも県南地方で主に生産されている。生産量日本一。

おいしいと
笑顔ではおぼる
つがるロマン



おいしいと 笑顔ではおぼる つがるロマン
青森県を代表する米の呼称「つがるロマン」。

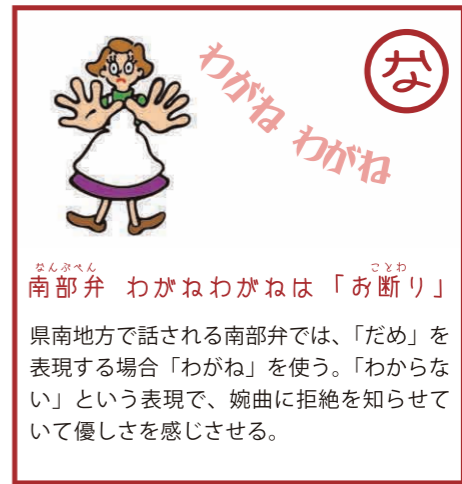
わ
わけ入って
かっくいさもだし
かっ一杯に



れ
霊場の
名をそのままに
恐山



な
南部弁
わがねわがねは
「お断り」



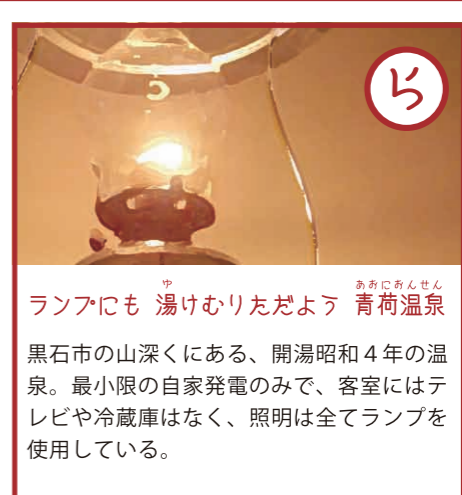
か
海峡の
はるか下やく
青函トンネル



そ
そびえたつ
岩木の山は
津軽富士



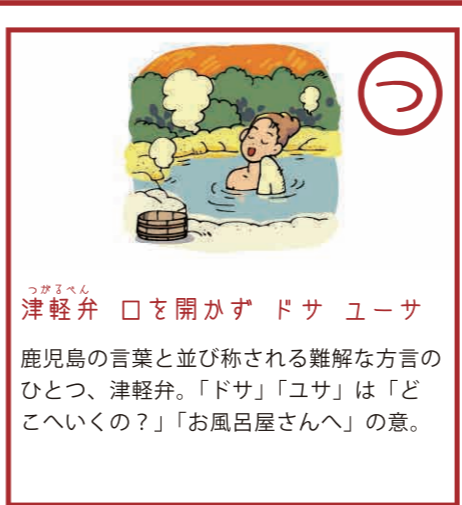
ら
ランプにも
湯けむりただよ
青荷温泉



よ
夜桜も
みごとな弘前
観桜会



っ
津軽弁
口を開かず
ドサ ユーサ



む
群つくる
下北半島
北限の猿



た
竜飛崎
早い海流
眼下に望む



ね
猫の声
はなつ海鳥
家は無島



う
海の道
大船往来
津軽海峡



①
意気軒昂
140万人の
大家族

①
意気軒昂 140万人の大家族
青森県の人口は、平成20年3月1日現在、1,404,462人。

②
ヤーレヤーレは
三社大祭
八戸市

②
ヤーレヤーレは 三社大祭 八戸市
毎年7月31日から8月4日までの5日間、八戸市で開催される「八戸三社大祭」。およそ280年の歴史と伝統を誇る豪華な山車が有名。ヤーレヤーレは掛け声。

③
こんこんと
湯湧きにぎわう
浅虫温泉

③
こんこんと 湯湧きにぎわう 浅虫温泉
温泉で麻を蒸していたところからついた名といわれる。二十数件の旅館・ホテルが立ち並び、観光客でにぎわっている。

④
野をうがち
現る土偶
亀ヶ岡

④
野をうがち 現る土偶 亀ヶ岡
つがる市木造にある亀ヶ岡石器時代遺跡。たいへん珍しい遮光器土偶が出土したことで有名。

⑤
目の当たり
十二の湖
日本キャニオン

⑤
目の当たり 十二の湖 日本キャニオン
海拔940mの崩山から眼下を見ると、12の湖沼が展望できることから十二湖と名づけられた。十二湖の入口にある断崖が日本キャニオンである。

⑥
枝ゆらす
北東風はつめたい
夏の風

⑥
枝ゆらす 北東風はつめたい 夏の風
6月から7月にかけてオホーツク海から吹き出す低温の北東風を「やませ」と呼ぶ。農作物の冷害の原因となる。

⑦
大山を
幾重にも置く
八甲田山

⑦
大山を 幾重にも置く 八甲田山
八甲田山という山は存在せず、大岳、高田大岳、井戸岳、赤倉岳、前嶽、田茂滝岳、小岳、硫黄岳、石倉岳、雞岳の北八甲田と櫛ヶ峰、乗鞍岳、横岳、駒ヶ峰、南部赤倉岳、猿倉岳の南八甲田とで「八甲田連峰」となっている。

⑧
桂月の
歌に詠まれし
蔦温泉

⑧
桂月の 歌に詠まれし 蔦温泉
明治から大正にかけての歌人大町桂月は高知県の人。十和田湖に魅せられ、蔦温泉を終焉の地に選んで晩年を過ごした。桂月が雑誌「太陽」に紹介したことで十和田湖が観光地として有名になった。

⑨
手をかけて
おいしく育てる
青森りんご

⑨
手をかけて おいしく育てる 青森りんご
りんごの栽培は枝切り、肥料まき、耕起と草取り、葉かけ、受粉、実すぐり、袋かけ、袋はぎ、葉取り、玉回し、収穫と冬の寒い時から秋まで、ほぼ一年中作業がある。

⑩
くらむほど
高い大橋
城ヶ倉

⑩
くらむほど 高い大橋 城ヶ倉
城ヶ倉渓谷をひとまたぎする「城ヶ倉大橋」は、上落式アーチ橋としては日本一の長さ(360m)を誇り、谷底までの高さも122mある。

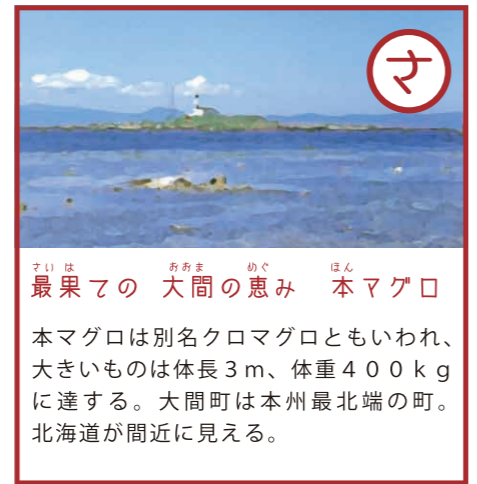
⑪
吹雪にも
耐える尻屋の
寒立馬

⑪
吹雪にも 耐える尻屋の 寒立馬
尻屋崎周辺の草地には一年中「寒立馬(かんだちめ)」が放牧されている。寒さと粗食に強く、吹雪に耐えて立ちつくす姿は感動を与える。

⑫
荒海を
かすめる鉄道
五能線

⑫
荒海を かすめる鉄道 五能線
日本海側の海岸を走るJR五能線は、弘前から五所川原を通って東能代まで。

① 最果ての
大間の恵み
本マグロ



② みなで引く
弘前ねぶたは
ヤーヤドォー



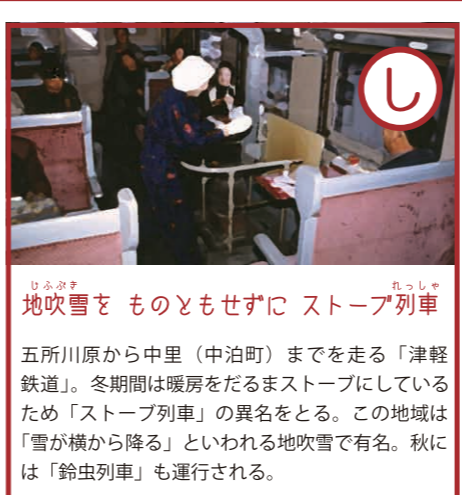
③ 潜り込む
砂地保護色
県魚のヒラメ



④ 北国の
むつ湾育む
ホタテ貝



⑤ 地吹雪を
ものともせずに
ストーブ列車



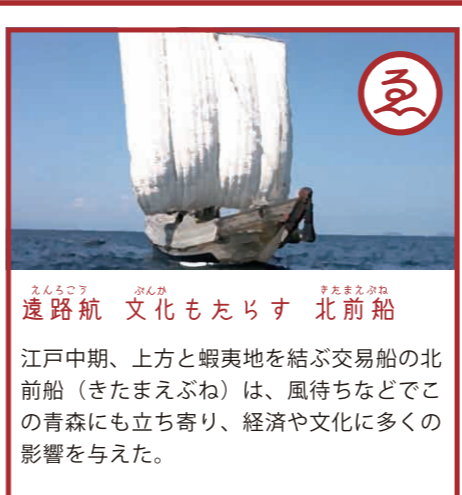
⑥ 世界遺産
ブナ原生は
白神山地



⑦ 湯の
強い酸ケ湯の
地獄沼



⑧ 遠路航
文化もたらず
北前船



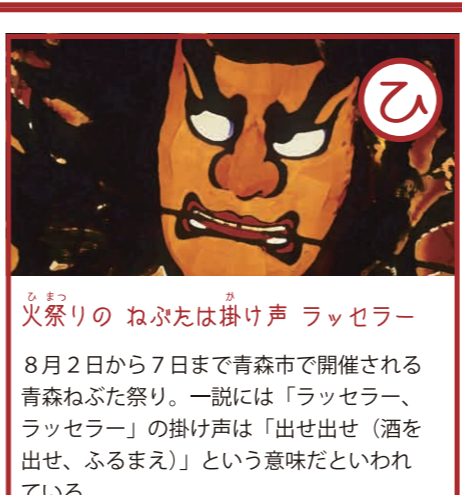
⑨ 西瓜畑
海辺ひろひろ
屏風山



⑩ メロス来て
太宰治の
心を伝う



⑪ 火祭りの
ねぶたは掛け声
ラッセラー

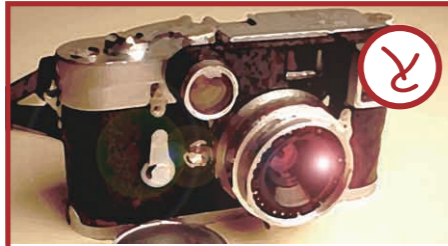


と

泥川を

母子泳ぎて

澤田撮る



と

泥川を 母子泳ぎて 澤田撮る

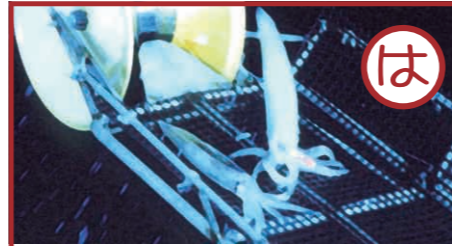
澤田教一は1936年青森市生まれの報道写真家。1965年9月、ベトナム戦争下に泥川を必死で泳ぎ渡る母子を撮影した「安全への逃避」で後にピューリッツァ賞を受賞。

は

八戸は

イカの水揚げ

誇る市



は

八戸は イカの水揚げ 誇る市

八戸市の漁獲水揚げ高はトン数、金額とも全国上位であり、特にイカは長年にわたって水揚げ日本一を誇っている。

た

第四位

誇る食料

自給率



た

第四位 誇る食料 自給率

2002年現在、青森県の食料自給率は127%で全国第4位。ちなみに1位は北海道で179%、2位は秋田県、3位は山形県、5位は岩手県となっている。

え

微笑湛う

淡谷の歌声

心に沁みる



え

微笑湛う 淡谷の歌声 心に沁みる

「ブルースの女王」として有名な淡谷のり子は1907年青森市に生まれた。その名の通り、生涯に25曲のブルースを世に送り出した。

ふ

ふっふっつと

銘酒を醸す

百石の蔵



ふ

ふっふっつと 銘酒を醸す 百石の蔵

青森県を代表する銘酒「桃川」は上北郡おいらせ町（旧百石町）の醸造元。